

「鹿本商工ら(カモトショコラ)」

～世界中に笑顔を～

熊本県立鹿本商工高等学校

商業科・情報管理科 3年課題研究販売実習班の10名が、フェアトレード(公平な貿易)の学習を活かし、地元山鹿の洋菓子店「パティスリーのなか」様にご協力いただき、山鹿産米粉とコートジボワール産カカオを使用したフェアトレードチョコレートで、クラシックショコラ「鹿本商工ら(カモトショコラ)」を共同開発しました。オーナーシェフの野中様がお店を始められた当初から13年間温めてこられた商品名をいただき、生徒たちがサブタイトルである～世界中に笑顔を～という言葉添えました。

商品ができるまでには様々な困難がありました。「わざわざ買いに行っても食べたいと思うものと考えてきて欲しい」という野中様のご要望に、生徒たちは何とか応えようと試行錯誤し、「パティスリーのなか」様の店舗へ何度も足を運びました。また、デザインはどうしてもうまくまとまらなかったため、美術部に協力を依頼し、完成させました。そして出来上がったのが「鹿本商工ら」です。途上国の生産者と適正な価格で公正に取引をすることによって、生産者の自立を促すしくみを作り出すフェアトレードが、この山鹿市からも世界に発信され、世界中の人たちが笑顔になれるようにと願いを込めました。

販売は、10月に催された本校の「商工フェスタ」から開始。その後、校内販売、地元のアンテナショップ、地域イベント、更には生徒1日限定企画「Fair Trade Cafe」(協力:「ラララ♪カフェ」(山鹿市))で飴細工をトッピングしたものを提供しました。

本校で3年前に始まったフェアトレードの取り組みは、後輩たちにも確実に引き継がれています。生徒たちの、山鹿と世界を結びつける地道な活動が、いつかたくさんの人々を笑顔にしてくれるよう願っています。



野中様に交渉中



手際よくラベル貼り



「鹿本商工ら」完成！！



商工フェスタで販売開始



山鹿市長と一緒に



飴細工をトッピング